

## マスクなどの出し方



### 1 ごみに直接触れない



※マスク本体に触らないように  
ポリ袋などに入れる

### 2 しっかりしばって封をする



※袋が破裂しないように空気を抜いて

### 3 指定有料ごみ袋に入れて



※燃やせるごみの日に出す

### 4 ごみを捨てた後は手を洗う



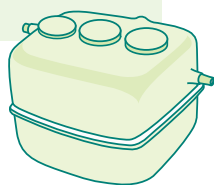
※せっけんなどを使って、流水で  
手をよく洗いましょう

## ポイ捨ては絶対にやめましょう

海や川が汚れる大きな原因は、家庭からの生活雑排水です。

「単独処理浄化槽」は、トイレからの排水しか処理できません。台所やお風呂、洗濯などからの排水（生活雑排水）は、そのまま海や川に放流されるため、環境汚染の大きな原因となっています。下水道などの未整備地域にお住まいの方はすべての生活排水をきれいにする「合併処理浄化槽」に設置替えして、水環境の美化にご協力ください。

※補助対象地域や物件などに条件があります。詳しくは、廃棄物対策課または浄化槽関係業者にお問い合わせください。



一般住宅で、「単独処理浄化槽」などから「合併処理浄化槽」へ設置替えする場合、補助制度があります。

## 合併処理浄化槽に設置替えしましょう

※内容や時間については、ごみ減量推進課にご相談ください。

問 ごみ減量推進課 ☎537・5687

## マスクなどのごみの出し方にご協力を！

感染症に感染した人やその疑いのある人などが使用したマスクやティッシュなどのごみを捨てる際は、左記のイラストの手順で「指定有料ごみ袋」に入れて「燃やせるごみ」の日に「ごみステーション」に出してください。

家族だけでなく、近所の皆さんや収集作業者にとっても、新型コロナウイルスなど感染症対策として有効ですので、ご協力をお願いします。

家庭から出る燃やせるごみの約4割は「生ごみ」。水分が多く焼却には多くのエネルギーが必要です。

今回のリサイクルおおいたは段ボールコンポストで「生ごみ」を減量し、できた堆肥をガーデニングに生かしている田中さんにお話を伺いました。



田中 華苗さん  
(西鶴崎)

子どもの頃から花を育てることが好きで、堆肥作りにも興味がありました。市のホームページで「段ボールコンポスト」のセットの支給について」のページを見たことが使い始めたきっかけです。

普段はコーヒークサや紅茶の茶殻、野菜くずを二日に一回くらい段ボールコンポストに入れ、かき混ぜています。混ぜやすくなるために、我が家では基材となる「ピートモス」と「もみ殻くん炭」を入れた防虫カバーを段ボールコンポストの中に入れて使用しています。

生ごみはそのまま入れても良いのですが、フードカッターなどで細かくしてから入れると、より分解が進みます。生ごみを入れると2、3日で本当に分解されるから面白いですね。

全体的に黒っぽく、もっちりしてきたら生ごみを入れるのを止め、その後、熟成させて1か月くらいで生ごみの形がなくなっていたら堆肥として使っています。

土は繰り返し使っていますが、この堆肥を使うと「葉のつや」が良い元気な苗が育っています。

## 段ボールコンポスト支給制度

次のセットを無料で支給しています。  
(1回の申請につき1セットずつ、年間最大4セット)

- ・段ボール
- ・ピートモス
- ・もみ殻くん炭
- ・防虫カバー (初回のみ)



詳しくは、ごみ減量推進課までお問い合わせください。

問 ごみ減量推進課 ☎537・5687

## 『ごみ減量・リサイクル推進懇談会』を開催しませんか

子ども会や老人クラブの活動、地域の集会等に、市の職員がお伺いし、ごみの分別や減量方法について、DVD映像や画像、資料等を使用して分かりやすく説明します。

### 《懇談会の内容》

- 資源物とごみの分け方・出し方について
- 生ごみ減量(3きり運動)と食品ロスの削減について
- 生ごみ処理容器等(コンポスト等)による減量化促進事業について
- 市の「4R」(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)の取り組み

など



市ごみ減量・リサイクル推進  
イメージキャラクター  
リサイクルン